

## 【講座名】

### 2020年度 東京工業大学 CUMOT x STAMP 連携プログラム

【授業計画】2020年11月～2022年2月（10回）

1. 11月17日 「技術の創出と経営判断」

—通信技術と携帯電話のための新たな市場の創出

講師 潮田邦夫 （元）（株）NTTドコモ 常務取締役法人営業部長

要旨 本事例は、NTTドコモ社で携帯電話の拡大の転機となったi-mode開発と、ワイヤレスソリューションの世界を広げ、携帯ワールドの基盤づくりを図った内容である。

2. 11月24日 「新興国の事業展開のポイント」

—川喜多二郎氏直伝の問題解決ツール「KJ法」の活用

講師 岡部 聡 （元）トヨタ自動車株式会社 専務取締役

要旨 本事例は、元東京工業大学川喜多教授から学んだ野外科学の考えた多をベースに、トヨタでの新興国事業展開における問題解決の事例である。

3. 12月1日 「技術に立脚した経営」

—新規技術が未来を変える

講師 神永 晋 （元）住友精密工業株式会社 代表取締役社長

要旨 本事例は、中期的な視点に基づく研究開発と事業化について、社会へに実装のためには、技術開発とその技術を基本とした技術経営の相互の強い連携が必須であることを、実践事例に基づいて示す内容である。

4. 12月8日 「新しい時代の研究開発とそれを活かす技術経営」

—オープンイノベーションを実のあるものにするには

講師 上田新次郎 （元）（株）日立プラントテクノロジー代表取締役副社長

要旨 本事例は、時代の潮流であるオープンイノベーションを中心にその歴史的必然性、実質的な内容、有効な活用法について日立製作所における取組を参照しながら課題を提起し、新しい時代の研究開発のあり方とそれを活かす技術経営について示す内容である。

5. 1月12日 「新規事業の開発・導入から発展へ」

—Suicaの開発と導入 ICカードの交際調達紛争 電子決済プラットフォーム

講師 井上 健 （元）東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役鉄道事業本部副本部長

要旨 本事例は、ICカードの研究に始まり、Suica実用化による電子乗車券システム導入さらにSuicaを活用した新事業展開の内容である。

6. 1月19日 「経営者視点の実践開発プロジェクトマネジメント」

—多様なステークホルダーが関わるシステム開発のプロジェクト運営

講師 井上 保 （元）富士通テレコムネットワーク株式会社 代表取締役社長

要旨 本事例は、プロジェクトマネジメント（PM）で「失敗しないための実践的な知恵

について学ぶとともに、プロジェクトのゴールを左右する「ステークホルダーの存在」と「人間の振舞い」について理解を深める。ケースを通して炎上プロジェクトの立て直しについて考え、討議する。

#### 7. 1月26日 「組織の成長に欠かせないベンチャー精神」

##### ―大企業における組織の再活性化

講師 海野 忍 (元) NTT コムウェア株式会社代表取締役社長

要旨 本事例は、大企業の中で社員の活性化を図る方法について、その具体的施策をハード面、ソフト面に分けて提案するものである。ベンチャー企業では出来る事が、企業が発展し規模が拡大するにつれてできなくなる理由を分析し、それを防ぐ方法について考察していきたい。

#### 8. 2月2日 「経営の現場と危機管理」

##### ―戦略・ビジョンの役割と経営現場の危機管理

講師 中村房芳 (元) 株式会社 IHI 代表取締役副社長

要旨 本事例では、事業の成長を実現するために経営の現場ではどのようなことに対処していかなければならないか、その時のキーとなる経営的発想は何か、(株) IHI における車両過給機事業での事例をもとに考えゆくものである。

#### 9. 2月9日 「テクノロジーの進化がもたらす産業構造・社会生活の変化と新たな事業機会」

##### ―新たな競争軸 (CASE) の出現

講師 三木一克 (元) (株) 日立メデイコ代表執行役 執行役社長

要旨 CASE (Connected (コネクテッド)、Autonomous (自動化)、Shared (シェアリング)、Electric (電動化) の出現は、交通革命を生じるだけでなく産業構造と社会生活にも大きな変化を引き起こす。本事例では、変化する時代に新たな事業機会を創出するチャンスが到来すると予測する内容である。

#### 10. 2月16日 「大型・複合・国際化するプロジェクトにおいてプロジェクトリーダーに要求される資質は何か」

##### ―海外プロジェクトにおけるプロジェクトの問題点、課題を見抜く

講師 野呂一幸 (元) 大成建設株式会社 常務役員 設計本部長

要旨 日本企業が海外で展開する多くの事業・プロジェクトは大型・複合・国際化している。本事例は、大成建設で数多くのプロジェクトで経験したことを紹介し、プロジェクトの問題点、課題を見抜き、プロジェクトリーダーに要求される資質は何かについて焦点を当てた内容である。プロジェクトリーダーは、オーナー代理人、オーナーコンサルタント、チーム内国際人材、国際契約書の手続等、国内では考えられない問題で力を発揮しなければならない。チーム、コンソーシアムをリードするのに必要な人間力は古今東西同じである。こうした中、コスモポリタンとしての存在感を示し信念をもって問題・課題に立ちむかう姿勢が重要となる。